

なごやか地域福祉



ニュース



2016. **冬**
第19号

「地域福祉に関する懇談会」初開催！！

地域で活動する主体者の連携・協働、理解促進のきっかけをつくるため、地域福祉に関する懇談会を開催し、各団体の代表者が一堂に会しました。

平成27年11月6日（金）に初開催となったこの懇談会には、区政協力委員議長協議会や民生委員児童委員連盟など地域で活躍する団体のほか、今回新たに大学、企業、商店、協同組合といった分野からの参画が得られました。

新聞販売店による新聞配達を通じた見守り実践、名古屋学院大学の学生を地域活動に巻き込むコツなどの実践報告があり、次のような意見交換がなされました。



＜地域福祉に関する懇談会の様子＞

＜主な意見内容＞

- 今回から懇談会に参画した商店や企業、協同組合にも地域福祉の輪に加わってもらい、市レベルだけではなく、区レベルでの活動にもつなげていくことが重要。
- 学生を地域の取り組みに取り込むためのポイントとして、学生が参加することの目的を明確に説明し、情熱を持って接することが大切。

公式ホームページでは、計画の推進状況を順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2015

検索



つながり・支えあおう 地域福祉のすゝめ

日時：平成28年**1月19日(火)** **参加無料**

13時30分～16時30分（開場13時）

会場：名古屋市公会堂（昭和区鶴舞）

内容：地域福祉に関する講演、取り組み発表等

申込：市社会福祉協議会（1月12日まで）

名古屋市 地域福祉のすゝめ

検索

【分科会3】なごやか地域福祉2015セミナー

- ①福祉教育で生まれる
地域のつながりづくり with 推進協
- ②多様な世代で考える
孤立を生まない地域づくり ほか



つながり・支えあおう 参加無料
地域福祉のすゝめ

地域で暮らす方々の抱える悩みごとを地域住民同士が協力して解決しようとする「助けあえあい活動」や地域を舞台とする交流の場づくりを推進する「ふれあいいきいきサロン活動」が広がっています。今後の地域福祉活動に活かしていただくため、市内の実践事例から学びあうフォーラムを開催します。ぜひご参加ください！

日時 平成28年1月19日(火)
13時30分～16時30分(開場13時00分)

会場 名古屋市公会堂
大ホール・四階ホール・第7集会室
名古屋市区鶴舞一丁目1番3号(地図参照)

定員 650名

プログラム

- 13:30 開会あいさつ 会場：大ホール
名古屋市社 実行担当
- 13:45 【基調講演】
助け合いによる生活支援と
ネットワーク
～住民主体の地域づくり～
- 14:45 講師：名古屋学院大学 学長 宇野 昭博
教授 市川一昭
- 15:00 【分科会】実践報告
【分科会1】地域支えあい活動フォーラム
地域が抱える様々な課題を解決するための実践事例の報告
- 【会場】大ホール (定員) 250名
【分科会2】ふれあいいきいきサロン推進セミナー
ふれあいいきいきサロンの実践事例の報告と今後の展開について
【会場】四階ホール (定員) 250名
- 【分科会3】なごやか地域福祉2015セミナー
分科会3の開催について、今後の地域福祉活動の推進について
【会場】第7集会室 (定員) 150名
※無料セミナー・セミナーは定員です。
- 15:30 閉会

参加対象

地域福祉活動の実践者
なごやか地域福祉2015の推進に関心のある市民・事業者の方
ふれあいいきいきサロンの活動実践者
企業、商店、社会福祉法人、NPO法人、ボランティア
団体、協同組合、大学、専門学校などの皆さんで
「なごやか福祉」に関心のある方 ほか

参加申込方法

参加希望される方は、参加申込チラシ(社会福祉ホーム
ページ)からダウンロードして、お申し込みください。
※特に、氏名・団体名・住所(単独希望の方)に記入し、
郵便で届けるか、希望する科の担当者に直接お申し込み
のうえ、市社会福祉協議会へ、**封筒・封子・AXのいずれか**
で郵送ください。また、メールでも受け付けます。

お申込・お問合せ先

社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会
(名古屋福祉推進部/内下・大塚 課)

名古屋市社会福祉協議会
〒460-0001 名古屋市中区大塚1-1-1

TEL 911-3193 FAX 917-0702
E-MAIL chiki02@nagoya-shakyo.or.jp
http://www.nagoya-shakyo.jp/

主催：名古屋市・社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会 共催：地域福祉に関する懇談会



<ふれあい給食会における送迎の様子>

社会福祉法人と地域の連携・協働の形

緑区で特別養護老人ホーム楓林花の里を運営する**社会福祉法人英楽会**では、現在、大高北学区と連携・協働し、地域福祉活動に取り組んでいます。

昨年10月に、**社会福祉法人の地域貢献**を考えるため、同法人において地域貢献プロジェクトチームを立ち上げ、施設として何ができるかなど各部署の職員が集まり月1回のペースで話し合いが始まりました。

そのような中、「同法人の理事でもある大高北学区の地域の役員の方から、**ふれあい給食会への送迎**の相談を受けたことが、地域との連携のきっかけとなりました」と経緯を話すのは遠藤生活相談員。ふれあい給食会は月一度程、学区内の高齢者をお招きし、趣向を凝らした食事や交流の場を提供する活動ですが、坂道の多い地域のため、車での送迎がなければ参加が難しい状況とのこと。しかし、送迎する人がいなくなってしまうため困っているとのことでした。そこで、デイサービス送迎車を活用し、施設職員が送迎することにより、徒歩では参加できない高齢者が継続して給食会に参加することが可能となりました。

「地域貢献は、施設のおしつけでやっても地域は受け入れてくれません。地域が助かると思ってもらうものは何かを、**地域の声を聴き、話し合いを繰り返し、お互い無理のない範囲でやる**ことが継続の秘訣です」と話す大橋施設長。

給食会の連携は一つの形。現在も、大高北学区の方と次は何をやるかなどを、お互い無理せず焦らずを合言葉に話し合っています。今後の活動に注目が集まります。



生活協同組合の目指す連携によるまちづくり

南医療生活協同組合 総合病院南生協病院では、「みんなちがってみんないいひとりひとりのいのち輝くまちづくり」を基本理念として、医療・介護・福祉の枠組みを超えた『暮らし』に視点を置いたまちづくりに取り組んでいます！

平成14年からは医療に強いという組合の特徴を活かした「健康づくり健診運動」を実施し、**市民の協同**でつくる健康なまちづくり支援病院として、隣接する大型ショッピングセンター等で月に1回の市民の健康チェック活動など、**地元企業のCSR活動**と連携した取り組みも展開されています。

また、地域の中に「ささえあい・たすけあいのネットワークがあれば、自分の住んでいる地域に病院から帰ることができる方もたくさんいるんです」と話されるのは、病院内に併設の「地域ささえあいセンター」の大野本部長。そのための取り組みとして、ひとりの「困った」に寄り添い、支援をしていくためのツールが「**おたがいさまシート**」。「たったひとりの困りごとが実はみんなの困りごとでもあった」ことも多く、「おたがいさまシート」は安心して暮らし続けられるまちづくりに役立っているそうです。地域の方々や事業所の方々と手を取りあいながら暮らしの支援が広がっています。

こんな病院であってほしいという**地域の声**とともに歩んできた同病院は患者さんだけでなく、若い学生をはじめとする健康な方も行き交う地域の交流拠点となっています。

ぜひ一度お立ち寄りください！



<健康チェック活動の様子>